

新年度のご挨拶

· 路上1、台下2、路上1、台下2、路上1、路上2、路

4月から新年度を迎えるにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。冒頭、年頭の能登半島地震の被災に遭い、多数の亡くなられた方々に謹んでお悔やみを、また現在も避難生活等の苦難を強いられている多くの被災者の皆様方にお見舞いを申し上げます。コロナは5類になって以降、徐々に日常が戻ってまいりましたが、まだ新規感染者も少なくないと聞きます。そのため、にぎたつ苑でも面会の機会を増やすように努力しておりますが、まだまだ多くのご利用者、並びにご家族の皆様方にご不便をおかけしております。誠に申し訳ございません。にぎたつ苑では5類変更後のサービス提供のあり方について入念に検討して参りましたが、まだまだ不便な点も多いかとも存じます。何かお気づきの点がありましたら、ご遠慮なく申し出ていただいたらと存じます。今後もご不便をおかけした分を取り戻せるように努力して参りたいと存じます。

新年度もにぎたつ苑はご利用者、並びにご家族の皆様方の安全、 安心を第一義として、サービス提供を心がけて行きたいと存じます。



施設長 山本昌也

今年は、介護・医療業界において、重要な年を迎えることとなります。 2014年より介護・医療サービス提供の一体化が推進され、団塊の世代 が75歳になる2025年に向け整備されてきたためです。そのため今年 度は、介護・医療・障害福祉サービス報酬のトリプル改定に加え、介護 保険事業支援計画等も改定されます。今後、全国の高齢者人口がピー クを迎える2040年において、愛媛県の高齢化率は40.2%となり全国 平均34.8%を大きく上回ります。一方で介護職の人手不足は深刻であり、2040年には推計約7,000人の不足が予測され、県の喫緊の課題と されています。

当グループでは、地域の方々がより介護を身近に感じられるように新たなボランティア制度も取り入れ、また、新卒者については、勉強や生活環境の変化への支援目的で手当を設けるなど、今後もより質の高いサービスが提供できるように人材確保と教育に努めていく所存です。

介護制度は多岐にわたり、また複雑化しています。なにかご不安な 点がございましたらお気軽にスタッフにお声掛けください。



事務長 後藤道洋

入所•短期入所療養介護

~入所の取り組み~

苑では、ご利用者に楽しんでもらえるように工夫しています。 年間行事のイベントごとに苑内でもレクリエーションや行事食を食べて頂いています月 今年の1月はお正月・2月は節分の日を楽しんでもらいました!!



節分の日





※撮影時のみマスクを外して頂いた方がいます



介護認定更新で 認定向上された方に 「表彰状」を贈呈しました。 表彰された 9名の皆様 おめでとうございます《









節分祭













デイケアでは、季節ごとの行事を通して、ご利用者に季節感を味わっていただいています!!

デイサービスセンターごごしま 「こぎたつ苑通所介護ごごしま

コミュニケーションロボット「みーちゃん」を導入しました

当苑では「介護ロボット福祉機器活用によるケア向上委員会」が中心となり、介護現場の未来を見据えて様々な 介護ロボットの導入を進めています。今年度は複数の見守りロボットをデモ導入し、その有効性を検討しました。結 果として、ご利用者がロボットに話しかける、手を伸ばし抱きしめるなど関わりを持つことで、表情が明るくなる、落 ち着く時間が増える、トイレの回数が減るなどの良い効果が見られた事例がありました。

この経験を踏まえて、今回デイサービスでは『音声認識人形常しやべりみーちゃん』を導入しました。みーちゃん は、子供の声で会話するロボットで、季節に合わせた会話や歌を一緒に楽しむことが出来る機能を持っています。 トントンと体を軽く叩くだけで会話を開始できる操作性、高齢者が一人で扱える重さ、親しみやすい外観など、介護 現場での活用が可能なデザインであることが、選定の理由となりました。

具体的な活用法として、委員からは「ご利用者の子供時代や子育ての記憶にアプローチする回想法」「運動時に だっこしていることでパランス感覚を養う」「人形と関わることで気分転換を図る」「行事ではみ一ちゃんに衣装を着 せてご利用者と一緒に写真を撮る」などのアイデアが挙がりました。導入から4か月、みーちゃんはすっかりデイサ ービスの人気者になり、いろいろな場面でご利用者のケアに活用されています。



みーちゃん 「はーい 何ですか?」



一緒にお昼寝中



ハロウィンの仮装でお出迎え



し中は思わず笑



※撮影時のみマスクを外して頂バた方がいます



~ご自宅で出来るリハビリ~



だんだんと暖かくなってきました。お膝の調子はどうでしょうか?

"変形性膝関節症"などにより「膝が痛い」「膝がまがらない」「膝がうずく」と悩まれている方を見かけます。今回は、ご自宅で出来る膝痛対策を紹介したいと思います。

ベッドで出来る運動



仰向け状態で片膝を曲げて胸の方へゆっくり 引き寄せます。手の力で引っ張るのではなく、 脚の力だけで引き上げましょう。左右それぞれ 5 回ずつ行ってください。

椅子を使用した運動



椅子の背を持ちながら、膝がつま先から出ない ようにゆっくりと腰を落としていきます。この時、 膝を 90° に曲げる必要はありません。痛みが 出る手前で 20 回行ってください。



<u>外傷やリウマチ</u>などの病気や関節が腫れて熱がある、また 強い痛みがある場合は病院で、医師の指示を仰いでください。

入所-短期入所療養介護

お問い合わせ先 TEL 089-951-6600

- 日常生活の介護(食事、入浴、整容、更衣、排泄) -看護(健康状態の把握、口腔ケア、医療的処置など)
- リハビリ(短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリ、個別リハビリ、集団リハビリ)
- レクリエーション(集団レク、集団体操、教養娯楽活動など)
- その他(入所や退所の相談、ケアプラン作成、家族の相談、退所指導、居宅との連携など)

訪問介護事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1106

生活援助:掃除、調理、洗濯(洗濯物干し、取り入れ)、シーツ交換、買い物代行、衣類の整理など

身体介護: 入浴介助、清拭、買い物同行、通院同行、食事介助、口腔ケア、排泄介助、更衣介助、移動や移乗介助、 自立支援の見守りなど

- 営業日(相談受付日)月~金(12/30~1/3を除く) 営業時間(相談受付時間)8:30~17:00
- ・サービス提供時間…ご利用者の希望するサービスに対応
- ご利用範囲·・・松山市(旧北条市、中島町を除く) *興居島地区にもサテライトがあり対応しています。

居穹介護支援事業所

お問い合わせ先 TEL 089-951-1514

ケアマネジャーはお決まりですか?介護のこと、お気軽にご相談ください

私たちケアマネジャーは介護保険制度において、要支援・要介護と認定された人が、住み慣れた我が家でその人らしい 生活ができるように、適切なサービスの提供をご支援いたします。

在宅生活復帰支援センター ハートフル済生会

お問い合わせ先 TEL 089-946-8100

保健・医療・福祉サービスを統合的に提供・支援する賃貸住宅です。生活支援をさせていただき、自立と早期社会生活の 復帰や生活機能の維持を目指します。安心した環境の中で、今までの生活ペースでご自分に必要な在宅サービスをご利 用いただきながら、お過ごしいただけます。デイケアやデイサービスに通うことも出来ます。

済生会松山訪問看護ステーション お問い合わせ先 TEL 089-951-1335

- **訪問看護 ・健康状態の観察 ・病状悪化の防止 ・回復・療養生活の相談とアドバイス ・リハビリテーション**
 - ・点滴、注射などの医療処置 ・痛みの軽減や服薬管理 ・緊急時の対応 ・主治医、ケアマネジャー、薬剤師、 歯科医師との連携など
- **訪問リハビリ・**健康状態の観察(訪問看護師との連携) ・身体機能訓練 ・基本動作の訓練 ・発声、発語、嚥下の訓練
 - ・日常生活動作の訓練・住環境の整備・福祉用具の選定・自己訓練の指導・ご家族への介護支援、 相談など

営業日【月曜日~金曜日】9:00~17:00 【土曜日】9:00~12:00 24 時間緊急時対応あり

済生会なでしこハウス

お問い合わせ先 TEL 089-992-9326

(療養通所介護&多機能型療養所)

サービス内容 ・個別送迎 ・健康状態の観察 ・食事介助・入浴介助・排泄介助 ・医療的ケア ・レクリエーション

・医師、訪問看護師、ケアマネジャー、相談員との連携など

対象者<児童発達支援、放課後等デイサービス>

18 歳までの障害児で重症心身障害のお子様。医療処置が多く、常時看護師の目が必要な障害児の通所施設。 <生活介護>

18歳以上の障害者で医療処置が多く、常時看護師の目が必要な通所施設。

<日中一時支援>

日中において、一時的に見守り等の支援が必要と市町村が認めた障害者が対象。

営業日【月曜日~金曜日】9:00~17:00 【土曜日】9:00~17:00

済生会ワークステーションなでしこ お問い合わせ先 <u>TEL 089-916-6959</u>

(就勞織統支援 B 型事業所)

就労継続支援 B 型とは障がいをお持ちの方を対象に、生産活動を通じて就労に必要な知識の獲得や能力の向上のための訓練を行なうサービスです。訓練を通して就労に対する知識や能力が向上した方は、就労継続支援 A 型や一般就労へとステップアップすることもできます。 開所日時【月曜日~金曜日】10:00~15:00 【土・日・祝日】お休み

無料低額診療事業のご案内

当院は、社会福祉法第2条3項に基づいて、病気やけかにより生計困難をきたす恐れのある 方や経済的理由により必要な医療を受けることが困難な方に対して、無料または低額な費用 で医療を受けられるよう無料低額診療事業を行っています。

利用可能対象者

低所得者世帯等、経済的理由により診療費の支払いが困難と認められる方

申請方法 ※相談は無料。秘密は厳守いたします。

まずは1階「地域連携室」医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。

ご相談をお受けした後、院内規定により必要書類を作成し審査を行います。尚、必要に応じて申請者および世帯全体の収入や支出が分かる明細等を確認させていただくこともございます

為生会松山病院 地域連携室・医療福祉相談室

☎(089)951-6111(代表)

〒791-8026 松山市山西町 880 番地 2

E-mail:renkeishitsu@matsuyama.saise 診療科/内科·循環器内科·脳神経内科·外科

ジ原体/ / / / / / ・ / | 個中転り / 4 ・ かや 整形外科・脳神経外科・婦人科・形成外科 泌尿器科・眼科・放射線科・皮膚科 麻酔科・リハビリテーション科

休診日/第2・4・5 土曜、日曜・祝日

駐車場無料



にぎたつ苑の寄付金について

済生会は、明治 44 年に創立されてから皆様に支えられ現在に至ります。頂いた寄付金は、利用者様に還元し、この長い歴史の 積み重ね(先人の想い)を、絶やすことなく未来へつなぎます。







利用者様にあった車椅子や歩行器など

ノーリフト機器を導入し「怖い・痛い」の

快適な苑内生活や歩行訓練に使用します。 思いを軽減。安心・安全の介護実現

寄付金へのお問い合わせは、にぎたつ苑相談室まで ※ご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ先 089-951-6600



済生会 松山老人保健施設にぎたつ苑

理念

済生会理念のもと、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、在宅を含めた生活機能の維持・向上を目指し、総合的にサービスを提供する。

サービス目標

- 1、利用者の意思を尊重し、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要なサービスを提供する。
- 2、生活環境の整備や在宅生活に必要な体力・基本動作能力の獲得など、生活の質の向上を目的にサービスを提供する。
- 3、利用者の身体状況に応じて、適応なサービス提供の支援を行い、安全な在宅生活維持に努める。
- 4、自立した在宅生活が継続できるよう、在宅サービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して在宅生活を支援する。
- 5、市町村自治体や保健・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを目指す。
 - ■介護老人保健施設
 - ■短期入所療養介護
 - ■介護予防短期入所療養介護
 - ■通所リハビリテーション
 - ■介護予防通所リハビリテーション
- ■訪問リハビリテーション
- ■介護予防訪問リハビリテーション
- ■居宅介護支援
- ■訪問介護
- ■介護予防型訪問サービス
- ■日常生活支援·指導事業
- ■介護職員初任者養成講座
- ■訪問看護ステーション
- ■多機能型なでしこハウス
- ■在宅生活復帰支援センター ハートフル済生会
- ■通所介護(興居島)
- ■介護予防型通所サービス(興居島)
- ■配食サービス(興居島)
- ■過疎地有償運送(興居島)
- ■就労継続支援 B 型 ワークステーションなでしこ



発行元 社会福祉法人財団済生会

松山老人保健施設にぎたつ苑

苑長:山本昌也

住所 松山市山西町 880 番地 2

電話 089-951-6600

ホーム ページ http://nigitatsu.saiseikai.or.jp/

編集者 広報委員会

発刊日 令和6年4月1日

*広報誌内におけるすべての画像は、本人様及びご家族様に了承を得て掲載しています。